2026 年 11 月 5 日

丹青社が開催する空間×テクノロジーの研究成果発表イベント『超文化祭 2026』コンテンツ決定

～触覚×音の技術を駆使したイマーシブホラーなど 3 つの体験型コンテンツを展開～

商業施設・文化施設などの空間づくりを行う株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：小林統／以下、丹青社）は、デジタルとアイデアで空間の可能性を広げる若手社員主体の「自主実践プロジェクト」における研究活動成果発表イベント『超文化祭 2026』（以下、本イベント）のコンテンツを決定しました。本イベントは、丹青社の空間演出技術の研究開発・実証拠点「港南ラボ マークスリー[Mk_3]」にて、2026 年 11 月 24 日（火）から 27 日（金）の 4 日間にわたり開催します。

本イベントは、丹青社の CMI センター（※1）の若手社員を中心に外部パートナーと協業し、新たな「体験価値」を創造する取り組みを発表するもので、今年で 4 回目の開催となります。「KANKAKU LAB」をテーマに掲げた今回は、触覚×音の技術を駆使したイマーシブホラー『くらやみ地下鉄』、聴覚障がい者の日常生活を疑似体験できる『YU-MO Home』をはじめとした、『超文化祭 2026』のために制作したオリジナルコンテンツや、R&D 部門による日頃の研究開発で培った技術に関する展示をお楽しみいただけます。

丹青社は今後も「場を生み出す」技術やノウハウに、ICT や演出技術など「時を彩る」テクノロジーやアイデアを組み合わせるチャレンジを続け、空間の新たな可能性を広げてまいります。

※1　CMI センター（クロスメディアイノベーションセンター）：2017 年 2 月に発足した、丹青社内の空間演出専門チーム。テクノロジーとアイデア、多彩な個性と専門性の掛け合わせにより、空間の可能性を追求し、人々のこころを動かす感動体験を創造する。

■超文化祭 2026 オリジナルコンテンツ詳細

1．くらやみ地下鉄

協力：株式会社テレビマンユニオン、畑中正人、株式会社フジアール、株式会社ミライセンス、株式会社村田製作所



リリースに関するお問い合わせ先 ：
株式会社丹青社
広報室 担当：石綿、寺戸、武田
Tel：03-6455-8115　Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp
お問い合わせフォーム：https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr

あなたが向かうのは暗闇の廃駅。普段使わない感覚を研ぎ澄ませて「忘れ物」を見つけ、協力しながら無事に帰還してください。当たり前の感覚を思わず疑いたくなる「触覚×音」の不気味なイマーシブホラー体験です。本コンテンツでは、万博でも使用された触覚デバイス「ふしぎな石ころ“echorb（エコーブ）”」を活用。企画・体験設計・体験ソフトウェア開発・運営を当社社員が行い、造作制作を株式会社フジアール、音響設計・制作を株式会社テレビマンユニオンおよび作家 畑中正人氏、echorb のハードウェア・ソフトウェアは株式会社ミライセンス、位置検知システムは株式会社村田製作所が担当しました。

2．YU-MO Home



聴覚障がい者の日常生活を疑似体験するコンテンツ。体験を通して自身の毎日と比べたら何が見えるでしょうか？生活の工夫や違いを知ることで、新たな視点と気づきを得ることでしょう。企画・検証・設計・開発・運用まで、すべての工程を当社社員が手がけています。

3．tankascape

協力：BH 株式会社、株式会社レボーン



全身で色を想像する短歌展です。UWB（※2）による高精度測位を活用したハンズフリーのガイドが、鑑賞者の歩みに合わせて没入体験をサポート。音や香りが想像力をかき立て、短歌を起点に色彩豊かな情景を描き出します。BH 株式会社による技術支援、株式会社レボーンによる演出支援のもと、企画、アプリ開発、展示制作を当社社員が担当しました。

※2　UWB（超広帯域無線・Ultra-Wideband）：データの送受信や位置測定に用いられる無線通信規格のひとつ。GPS の電波が届きにくい屋内において、センチメートル級の超高精度測位を実現する。

■超文化祭 2026 開催概要

※準備・調整等がございますので、必ず事前に当社社員とお約束の上、ご来社いただきますようお願いいたします。

日時	2026 年 11 月 24 日（火）～27 日（金）10:00～17:45（最終受付 16:30）
場所	港南ラボ マークスリー[Mk_3]（LAB、STUDIO） 東京都港区港南 3-4-27 Warehouse Konan 2F
発表/展示内容	【超文化祭 2026 オリジナルコンテンツ 】 1.『くらやみ地下鉄』 協力：株式会社テレビマンユニオン、畑中正人、株式会社フジアール、株式会社ミライセンス、株式会社村田製作所 2.『YU-MO Home』 3.『tankascape』 協力：BH 株式会社、株式会社レボーン 【R&D 部門による展示】 ・ ブラウザ AI ・ DDT（誰でもデジタルツイン） ・ 他言語音声ガイド ほか

■超文化祭 2026 フライヤー





■ 丹青社について

「空間から未来を描き、人と社会に丹青（いろどり）を。」をパーパスに掲げ、こころを動かす空間づくりのプロフェッショナルとして、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、さまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりの幅広いプロセスをサポート。空間を体験のメディアととらえ、彩りあふれる持続可能な社会の実現に向けて、新たな価値の創造に挑戦しています。

社名　：　株式会社丹青社
所在地：　〒108-8220 東京都港区港南 1-2-70
　　品川シーズンテラス 19F（本社）
創業　：　1946 年 10 月
資本金：　40 億 2,675 万 657 円（2026 年 1 月 31 日現在）
上場　：　東京証券取引所プライム市場
　　（証券コード：9743／業種名：サービス業）
URL　：　https://www.tanseisha.co.jp

80th ANNIVERSARY
かさねよう、丹青（いろどり）

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社丹青社 広報室 担当：石綿、寺戸、武田
Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp　Tel：03-6455-8115
お問い合わせフォーム：https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。